



登山用ロープのSG基準 (公開用)

一般財団法人 製品安全協会

登山用ロープのSG基準

SG Standard for Rope for Mountain Climbing

1. 基準の目的

この基準は、登山用ロープの安全性品質及び消費者が誤った使用をしないための必要事項を定め、一般消費者の生命又は身体に対する被害の発生を防止することを目的とする。

2. 適用範囲

この基準は、登山用ロープ(身体確保用に限る。以下「ロープ」という。)について適用する。

3. 安全性品質ロープの安全性品質は、次のとおりとする。

項目	基準	基準確認方法
1. 外観	1. ずれ、傷その他の欠点がなく 仕 上げが良好であること。	
2. 衝撃力及び切断 強さ	2. 落下衝撃試験を行ったとき、 初回にはロープの衝撃力が 4.表示及び取扱説明書の 1.(8)の表示のあるものにあ っては、○以下、その他のもの にあっては○以下であり、2回 目にはロープが切断しないこ と。	
3. せん断衝撃力	3. せん断衝撃試験を3回行った とき、ロープのせん断衝撃力が 4.表示及び取扱説明書の 1.(8)の表示のあるものにあ っては、いずれも○以上、その 他のものにあってはいずれも ○以上であること。	

4 表示及び取扱説明書ロープの表示及び取扱説明書は、次のとおりとする。

項目	基準	基準確認方法
1.表示	<p>1. ロープの末端部の表面に容易に消えない方法で次の事項を表示すること。</p> <p>なお、(3)～(6)は、取扱上の注意事項と共に取扱説明書に表示してあるものにあつては表示を省略することができる。</p> <p>(1) 申請者の名称又はその略号及び日本国内の輸入・販売事業者の名称又はその略号</p> <p>(2) 製造年月若しくは輸入年月又はその略号</p> <p>(3) 品名</p> <p>(4) 呼び径</p> <p>(5) 衝撃力</p> <p>(6) せん断衝撃力</p> <p>(7) 岩角等の鋭角状又はこれに類する物体に衝撃をもって衝突したときには、切断することがある旨</p>	

<p>2.取扱説明書</p>	<p>(8) 二つ折り又は2本で使用するものにあつては○の記号</p> <p>2. ロープには、次に示す趣旨の取扱上の注意事項を明示した取扱説明書のほか、ロープの略歴記入用紙を添付すること。</p> <p>なお、一般消費者が容易に理解できるよう図で明示すること。</p> <p>(1) 取扱説明書を必ず読み、読んだ後保管すること。</p> <p>(2) 岩の割れ目に食い込ませたり、鋭い岩角にかけたりしないこと。</p> <p>(3) 靴やアイゼンで踏んだり、岩の上を引きずらないこと。</p> <p>(4) キンクしたまま使わないこと。</p> <p>(5) 制動確保を行うこと。</p> <p>(6) 特に険しい岩場等では二重ロープを使用すること。</p> <p>(7) 巻くときはよじれないように巻き、持ち歩くときは必ず袋の中に入れること。</p> <p>(8) 火気に近づけないこと。</p> <p>(9) 使用後は、風通しのよい所で陰干しにして十分乾燥してから冷暗所に置くこと。</p> <p>(10) 使用後、損傷の有無を確認すること。なお、長時間使用したロープ、又は一度でも大きな衝撃を受けたロープは、外観に損傷がなくても使用しないこと。</p> <p>(11) 使用履歴について整備し、廃棄時期の参考にすること。</p>	
----------------	--	--

	<p>(12)SG マーク賠償制度の対象となるのは登山(山岳救助活動を含む。)に使用される場合に限り、レンジャー部隊の訓練、風水害の救助活動など特殊な使い方を行っている場合は、対象外となること。</p> <p>(13)製造業者名、販売業者名若しくは輸入業者名及びその住所。</p>	
--	--	--